

## 令和4年 市政ふれあい懇談会要旨

- 開催日時 令和4年5月15日（日）14時～16時
- 開催場所 布佐南近隣センター
- 参加者 市民21名
- 出席者 星野市長、山元企画総務部長、小林財政部長、海老原市民生活部長、山本環境経済部長、南川建設部長、森都市部長  
他管理職等16名

### ■懇談要旨

市民：防災の講習会でのことについてです。テレビで我孫子市の震度情報が出るのが遅いとの意見がありました。テレビ局の関係もあるかもしれませんが、近隣に比べると表示されるのが遅く、どのような仕組みになっているのでしょうか。印西市の方が出るのが早いので、わかれば教えてほしいと思います。

本日、入り口で名簿を書きました。氏名、住所、電話番号という個人情報を記載しましたが、この管理についてお聞きしたいと思います。民間であれば医療目的等の理由があり、不必要になれば処分していますので、市のほうではどのようにしているのか、お聞きします。

市民生活部長：震度表示等の仕組みについては、担当からお話いたします。

市民安全課長：震度情報については、仕組みは全国共通だと思います。報道発表については、はっきりとはわかりませんが、気象情報の発表される順番で、近隣市より我孫子市が遅い順番であり、その関係で近隣市より遅いのではないかと思います。

企画総務部長：個人情報の管理について、一般的には目的を説明し、教えてほしいとお願いしております。目的が達成された後は、処分を行っておりますので、市でも基本的には民間と同じ管理方法をとっていると認識しております。

市民：個人情報の処分の際には、いつ処分されたかなど、監査を実施しているのでしょうか。

企画総務部長：監査については実施してはおりませんが、廃棄した記録については、残しているという認識を持っております。

市民：防災の際の水害対策についてです。以前、布佐南自治会、新々田自治会

で水害が起きた時に、我孫子東高校を避難場所にしてほしいという要望をお伝えしておりますが、その進捗状況について教えてください。もう一点は、利根川の堤防についてです。栄橋付近のコンクリートがずれていて、隙間が広がっています。最大で5センチほどです。水位が上がった時に、土手の決壊の原因となるのではないのでしょうか。河川事務所も把握はしていましたので、市も国に対して、補修を早めるように要望を伝えてほしいと思います。

市民安全課長：避難場所はあくまでも一時的なものです。避難所として開設する箇所は優先順位がありまして、我孫子東高校は開ける必要があれば開設する予定で、まったく避難所として使わないというわけではございません。

ただし、我孫子東高校は浸水想定区域にあるため、水害の場合には避難しても、浸水により孤立して取り残されてしまう状況になりますので、避難所としては使用しないようにしております。

建設部長：利根川の河川堤防については、国の管轄となりますので、河川事務所が毎日パトロールをしております。出張所の考えと異なる部分があるかと思われませんが、要望はお伝えしたいと思います。

市民：通学路についてです。布佐小学校入口が拡張され、歩道が広がると聞いて本当に良かったと思います。合わせて、布佐のアンダーパスを通りから栄橋に行く車がかなり増えました。都のファミリーマートのガードレールがやっと出来上がると聞いて、学校にも電話をしましたところ、5月に検討委員会を開くと聞きましたので、その中で、どのような結果になったのか教えてほしいと思います。また大型車は市内に入ってこれないようにしてほしいです。事故が起きてからでは遅いので、市からも強い要望をお願いします。

建設部長：布佐小学校の信号につきましては、感応式になる予定です。なお、交差点を拡張し、県で歩道を拡張していきますが、少し時間がかかると思いますので、ご理解いただきたいと思います。ガードレールにつきましては、県道になるため、県の管轄となります。今後も早急な対処の要望をしていきます。大型車の規制に関しましては、警察の範疇になりますので、市からも願いをしていきます。現実的には頻繁にできないですが、要望していきます。

教育委員会の会議は、各箇所を学校側から上げてもらい、市も含めて、道路管理者と現地を確認し対応を検討していくものです。詳細な要望につきましては、まだ、私のほうには届いておりません。

市 民：今の話に付け加えて、今年度は、通学路の整備については布佐と並木とありますが、優先順位はどのように決めているのでしょうか。街路樹等の細かいものはすぐに対応してもらえるのでしょうか。

建設部長：通学路については、危険箇所を学校が上げて、それぞれの管理者で対応していきます。布佐と並木は歩道の拡幅等の大きいものからで、街路樹が伸びている等の軽微なものは、連絡をいただければ、担当課でできる限り早急に対応いたします。ただし、民地から出ているものが多いので、市で勝手に切ることができませんので、所有者にお願いをしていきます。まずは、市に連絡していただきたいと思います。

市 民：終末処理場の蓋について、だいぶ改善されましたが、南風の時には、まだ臭気が漂います。蓋の設置が進んでいるのは良いことですが、全体はどれだけあって、どれだけ行うのか。全体感がわからない。説明してほしいと思います。また、年1回は県と打ち合わせをしていると思いますが、何らかの形で公表してほしいと思います。ホームページでもいいので今後のスケジュールや、検討内容について公表してほしいと思います。また、科学的な数値と照らして、どのようになっているのか、客観的な数値で議論してほしい。

建設部長：2列目は今年度末で完了するとのことです。10月末に2つ、残り1つは年度末に完了すると聞いています。今後の対策については、明確にしてほしいと伝えます。協議内容については、お知らせするものはホームページ等でお知らせしていきたいと思います。なお、全体のスケジュールについては、市にも示されておりませんので、県に伝えたいと思います。

市 民：3つあります。街路樹が1本切られていて、植え込みがとられていました。景観は重要ですので、市民から要望があった際には、自治会と相談してほしいと思います。また、新たに手賀沼公園久寺家線が開通したことにより、ネーミングを考えていただきたいと思います。また、市長には、これからも我孫子市のために、霞が関への要望等でお力添えをいただきたいと思います。

建設部長：街路樹については、何もお話もなく伐採することはございません。ただし、個人の駐車場の出入り等で伐採して、違うものを植える場合があります。今後も当事者と自治会に連絡し、相談させていただきたいと思います。

なお、道の名前につきましては、適切な委員会で検討していくものであります。

市長：我孫子は大企業がなく、厳しい財政状況であります。ご指摘があった中で、クリーンセンターや学校の建て替えを検討していく時期だと考えております。施設等につきましても、どのような形で建て替えるかは検討していかなくてはならない状況です。コロナ禍で民間も厳しい状況で、JRは収入が減っている中でも、成田線の本数が減少しないで済みました。今後も、我孫子市民のためにも国や県に要望等を伝えていきたいと思っております。なお、公園坂通りについては、周辺住民で今後の在り方について検討しているところでもあります。

市民：ありがとうございます。ぜひ、良い街になるように検討してほしいと思います。各省庁から補助金を見つけ、活用してほしいし、市長や議員の意見を広報に載せてみんなに知らせてほしいと思います。

市民：駅前交番についてですが、いつも、いないように見えますので、常駐化について検討してほしいと思います。あと、防災の関係では、布佐南小のグラウンドが少し低く水害があった際には、使えない状況ですので、土を入れるなりして、高くしてみてもどうかと思います。長い目で検討していただきたいと思っております。

市民生活部長：交番については、いつもいないと思われているのであれば犯罪抑止の点で意味がないと考えますので、警察と協議をしてみたいと思います。南小学校のかさ上げにつきましては、早急な対応は難しいですが、校舎の建て替えなどの際に検討したいと思っております。

市民：液状化となった布佐地域で、家を建てる時に杭を打つ本数がまちまちのようです。こういったことは、市で確認をしているのでしょうか。あまりにも杭の本数に差があるようです。布佐は昔、沼地であったため、ほとんどが同じ地盤になっていると思っておりますので、また大きな地震があった場合は不安です。

都市部長：建築確認は個別のことなので詳しくはわかりませんが、担当から設計における杭の考え方等について説明します。

建築住宅課長補佐：今の確認申請はほとんど民間がやっており、市では全てを把握しているわけではございません。なお、民間での確認申請は地盤調査をし、建物の荷重等を調査したうえで個別に設計していて、設計士等が必要と判断すれば、杭を打つなどの対処をしていると把握しております。

市 民：地域コーディネーター育成講座についてお聞きします。コーディネーターには、どういう人が対象で、どのようなことを行うのか、教えてほしいと思います。また、このコーディネーターと、まちづくり協議会との関係はどのようになるのか教えてください。

市民生活部長：この講座は5月から年8回行う予定です。目的は、街づくり協議会の担い手づくりや人材育成です。まちづくり協議会との関わりについては、担当からお話いたします。

市民協働推進課長補佐：コーディネーターとありますが、市民全体のスキルアップが目的となっています。市としては、講座が終了した後は、まちづくり協議会や市民団体に加わり、地域を盛り上げてほしいと考えております。講座の内容につきましては、市民活動について、ファシリテーション力の習得、地域のまちづくり協議会の役割などを学んでもらうものです。なお、オンライン会議のやり方なども講座で行っていく予定です。

市 民：手賀沼終末処理場についてですが、私どもグループで記録を残していません。千葉県とも毎年話し合いをしておりますが、2列目が終わってから調査をし、3列目をやるかどうか決めるとのことですが、県の臭気調査は、年に1回しかありません。調査回数を増やしてほしいと要望しているが、なかなか増えません。ぜひ、市からも県に要望してほしいと思います。もう一点は、1年半前に、布佐中学校区の見直しについて話がありましたが、布佐南小学校は今後どうなるのでしょうか。

建設部長：臭気測定の回数については、県に改めてお伝えしていきたいと思えます。

市 長：市では、分離型の小中一貫校を行っております。これは、全国的にも同様の状況です。今後、どのような校舎の立て方をするか、教育委員会で検討しているなかで、今と、今後の子どもの数と市の今後の財政状況等を考えたうえで、検討してほしいと伝えております。一体型や分離型になるかは地域によって異なると思います。布佐中学校区は子供たちの教育が熱心な地区です。一体型についても、モデル地区になるようにしてほしいということと、保護者や関係者の皆様と意見交換をしながら進めてほしいと伝えておりますが、まだ決まってはおりません。